



これは ではありませんが、言者ムハンマドの教えの 践として、ムスリム家族はラマダン月を通して朝の最初の光が出る前の朝まだきに起床し、食をとります。通常ムスリムの一日は、空に最初の光が れた に行われる、夜明け前の礼 から始まります。しかしラマダン月においては、この が 食を控えることによって 戒を 始する であることから、言者ムハンマド（神のご慈悲と祝福が彼の上にありますよう）はムスリムがその 前 に起床して、食事に参加するよう めたのです。

このことから、戒の核心が一日中 えを感じているということではないことが明らかでしょう。むしろ 戒とは、そこにおいて神への崇 行 がより 立ったものとなるべく、生活スタイルを えることなのです。5つの の礼 で 的に最も早く、それゆえ最も困 なものである夜明け前の礼 をしばしば逃す者でさえ、この祝福に溢れた月には 戒前の食事に加わるために、早く起きます。こうして最 的に、このような人は早い に起床することになれることとなり、ラマダン月以外の でも夜明け前の礼 を行うことに供与することになるのです。



任意の礼 の内、最も されるのが「??????」 [1]

と呼ばれる深夜の礼 です。この礼 は通常、夜明け前の礼 前に 独で行われます。またこ

同に彼は、戒中の者が怒りに任せて作法な振る舞いをするに、しても、警告しています。ムスリムは怒りを挑する者に、し、こう返答することをめられています：

??

これらの言者の言は、ラマダンの主な利益が精神的道徳的な廉直さであることを如に示していると言えるでしょう。

このように、ムスリム社会においてはラマダン月の、全ての邪さとい作法を回避し、より多くの崇行を行うことによって、平和の精神がムスリムの心に宿ることがお分かりでしょう。またラマダン月においては、一般的に人々がより付き合いやすく、であると感じることでしょう。そして一ヶ月、人々の多くが戒をする社会に住んでみれば、そこに生じる同胞の精神は、他のいかなる出来事ハッジ（大巡礼）はその限りではないでしょうがにも比肩しないほどのものとなるのです。

イフタル（戒明けの食事）



一日のわりが近づくと、ムスリムは各家庭ごとに集って日没を待ちます。男性は通常この間に仕事からり、快な服に素早く着替え、クルアーンをんだり戒明けの食事の手つたりし、一方母と娘は戒明けの食事と夕食の間に追われます。そして日没前には、家族は食卓をみ、ムアッズインの声を待ちます。そしてこのを、神への祈とそのご慈悲のに活用するのです。

??

そして日没の礼 へと呼びかけるアザンが こえるや否や、ムスリムは ってナツメヤシの
で 戒を解きます。そして 言者ムハンマドから教示された言 でもって、感 の言 を捧げる
のです：

??

多くのムスリムは更に、以下のような言 も付け加えます：

「神よ、私はあなたのみゆえに 戒し、あなたのみを信じました。私はあなたのお みで
もって 戒を解きました。私はあなたにこそ、全てを委ねました。」

その ムスリムは、色々な前菜と 物からなる 食を ります。多くの 合ムスリムは招待され
るか、または招待するかしますが、それは大家族のメンバ だったり、友人だったり、
あるいは しい者であったりします。また多くのモスクでは、 しい者の辛苦を わるため
、 料で食事が振る舞われます。またムスリムが少数の国で一般的に られるように、モ
スクで 戒明けの食事が提供されるのは、コミュニティの の 化を意 してのことである 合
もあります。 言者ムハンマドは、この祝福に溢れた月に食事を施すことを 励しました
。彼はこう言っています：

??



またこの月の初めには慈善 によって、 まれない者が一ヶ月 のニズを たすことが出来る
よう、食料が配 されたりもします。

戒を解く の喜びは、本当に 舌に尽くし いものです。たとえそれが最も 素な食事であっても、信仰者にとってそれ以上美味で、それほどの喜びをもたらしてくれるものはないでしょう。本当に、 言者ムハンマドの次の言 は、真 を告げています:

??

尚日没直 には の礼 があることから、この 点では十分な食事をとる がありません。ムスリムは集 礼 に参加する をし、大抵は徒 で行ける距 にある 所へと向かいます。そして日没 の礼 に参加した 、ある者たちは夕食を りますが、またある者たちは夜 の礼 が わるまで夕食を らせませす。夜 の礼 はラマダ ン月の主な特 の一つであるイベントであり、また慈悲と祝福に溢れたこの月のもう一つの精神的次元でもあるのです。

Footnotes:

[1] 逐 的には「夜に立つこと」を意味しますが、それは礼 中に起立しながらクルア ンを く朗 することによりませす。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/415>

著作 2006-2015 断 を禁ませす。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁ませす。